

大注連縄を担いで海を渡る

桜井二見ヶ浦大注連縄掛祭

5月3日、志摩の桜井二見ヶ浦で毎年恒例の大注連縄掛祭が開催され、多くの観光客でにぎわいました。
この行事は、毎年5月の大潮干潮時に催され、長さ30m、重さ1トンの大注連縄の掛け替え作業が行われます。危険を伴うため、氏子たちは声を掛け合いながら慎重に縄を張ります。
今年も氏子たちの雄姿を捉えようと、海岸沿いや高台にカメラを構える人たちが多く見受けられました。



強い風と波しぶきにも負けず、大注連縄を掛ける姿は圧巻

激しい試合展開に観客も熱中

第20回志摩少年柔道大会

第20回志摩少年柔道大会が5月4日に志摩中学校体育館で行われ、40団体による熱戦が繰り広げられました。

今大会では、試合前に国際大会での優勝経験を持つ江上忠孝さんによる柔道教室が開かれ「試合前の緊張をほぐす方法」などを選手たちに指導されました。

試合が始まると、どのチームも負けまいと激しい攻防戦を展開。福岡地区の千代中学校が見事優勝を飾りました。



「最後の1秒まであきらめない」という気迫が伝わってくる

学校に感謝の気持ち

記念植樹が行われました

5月13日、長糸小学校の創立記念日を祝い、また体育館の建て替えにともない解体される旧体育館への感謝の気持ちを込めて、子どもたちによる記念植樹が行われました。

植えられた木は「ドラセナ」という木で、5、6年生の子どもたちは自分たちの体よりも大きな木に悪戦苦闘している様子でした。

この日は九州大学の留学生サリさん（インドネシア出身）も学校を訪れ、子どもたちと一緒に植樹を行い、交流を深めました。



植樹を通してサリさんと交流を深めた5、6年生の子どもたち

糸島一をめざし、熱戦

第2回糸島市市長旗野球大会

第2回糸島市市長旗野球大会が5月8日に曲り田スポーツ公園で、15日に多久野球場で開催されました。

開会式で市長は「西日本に住む私たちが経済も含め、東日本を元気にしなければならぬ。今年も大会が盛大に行われることをうれしく思う」とあいさつを述べました。

今大会には、全12チームが参加。どの試合も熱戦を繰り広げ、第2回は松吉建設が優勝を飾りました。



天候にも恵まれ、白熱した試合となった

災害に備え、水防訓練を実施

糸島市消防団

5月15日、糸島市荻浦の長野川下流で、台風などの災害に備え、糸島市消防団による水防訓練が行われました。

訓練では、消防署職員の指導のもと、水害時に必要となる土のう作製やロープの結び方を学ぶ結果訓練など、5項目にわたる実技訓練が行われました。

訓練に参加した全分団の班長と自動車班員の全206人は、約半日におよぶ訓練に真剣に取り組んでいました。



糸島市荻浦の長野川で行われた水防訓練の様子

校区の枠を超えてスポーツを楽しむ

深江校区球技大会

深江校区球技大会が5月8日、二丈中学校運動場をメイン会場に行われ、たくさんの方が集まりました。

この大会は毎年恒例の行事でソフトボール、ビーチバレーボール、グラウンドゴルフの3競技に分かれて行われ、それぞれの校区が勝ち負けにこだわることなく、スポーツを楽しむことを目的に行われています。

参加者たちは、校区の枠にとらわれることなく、笑顔いっぱい楽しんでいました。



写真は深江公民館横で行われたグラウンドゴルフの様子